



# 母娘2世代間における意識の検討 (1)

## —食ライフスタイルおよび養育態度—

○小野寺敦子・河野理恵

(目白大学人間学部)

### 本研究の目的

どんな食事を誰とするかという食ライフスタイルは時代や文化および家庭によって異なる。しかし近年、日本では孤食・個食・粉食・小食といった食行動が問題になっており、親から子へと受け継がれていく食行動は大きく変化してきているといえよう。そこで幼児をもつ母親とその実母という2世代間における食ライフスタイルの共通点や差異を明らかにし、さらに子どもへの養育態度と食ライフスタイルとの関連性を検討する

### 調査対象者と調査内容

調査対象者：首都圏に在住し幼稚園と保育園に通う子どもをもつ母親（以後、娘）360人とその実母71人。

■娘の平均年齢：37.81歳 (SD=4.46) ■実母の平均年齢：65.63歳 (SD=6.44)

調査方法：幼稚園や保育園において、娘に対して質問紙を配布し、内容を記入後に郵送してもらった。その際、実母に対する質問紙郵送の可否を問い、可能な場合には実母の住所と氏名を記載してもらった。その後、実母に対して質問紙を発送し、内容を記入後に郵送してもらった。分析に使用した項目：幼児をもつ母親とその実母に対し食ライフスタイル尺度30項目と子どもへの養育態度項目14項目について各4件法で回答を求めた。

### 結果1 「食ライフスタイル」の因子分析結果 (幼児を持つ母親/実母ともに下記の4因子)

第1因子『料理への好奇心』因子	第3因子『伝統的食事』因子
1.料理をすることが好きである	1.伝えていきたい我が家の味がある
2.料理をすることは楽しい	2.自分の母親から教わった料理を作る
3.料理は苦手である(逆転)	3.年中行事に合わせた食べ物(おぼろぎ・チラシずし)を食べる
4.得意料理がある	4.おせち料理(一品でも)や赤飯などの伝統食を作る
第2因子『健康的食事』因子	第4因子『コンビニエントな食事』因子
1.毎日の食事は栄養のバランスがとれている	1.コンビニ等でお弁当やおにぎりを買う
2.毎日、野菜を食べている	2.ファーストフード(ハンバーガー・牛丼等)を利用している
3.健康的な食生活を送っている	3.外食をする
4.和食(煮物など)を作る[娘世代でのみ因子負荷量が高かった]	4.すしやピザなどのデリバリーを頼む

娘世代は和食を健康的だととらえているが、母親世代は伝統的食事にとらえていた！

### 結果2 娘と実母の養育態度の因子分析結果

第1因子『オーバーコントロール』(OC) 因子	第2因子『アンダーコントロール』(UC) 因子
1.OOLなさいと命令口調で話す	1.ほしがらモノがあれば買ってあげる
2.あれはダメ・これはいけないと禁止する	2.わがままを受け入れる
3.子どもの言い訳を認めない	3.子どもが嫌がることは無理にさせない
4.親は怖いと子どもに思わせるようにしている。	4.子どもがやりたいこと、したいことを優先させている
5.叱るとき、たたいしてしまうことがある	

### 結果3：母親の養育態度の4群 (OC得点とUC得点を用いたk-means法によるクラスタ分析)

	オーバー群77名	アンダー群64名	バランス群104名	アンビバレント群111名
オーバー得点	高	低	低	高
アンダー得点	低	高	低	高

### 結果4：母娘間の食ライフスタイルと養育態度

	母料理好き	母健康食事	母伝統食事	母コンビニ	母オーバー	母アンダー
娘料理好き	.293*	.273*	.311**	-.314**	-.212	.247*
娘健康食事	.169	.336**	.177	-.293*	-.016	-.028
娘伝統食事	.139	.212	.442***	-.339**	-.090	-.118
娘コンビニ	-.263*	-.220	-.202	.464***	.083	-.070
娘オーバー	.017	-.057	-.039	.114	.273*	-.134
娘アンダー	-.020	.117	.015	-.130	-.312**	.292*

\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.001

### 考察

本研究では、幼児をもつ娘とその実母の食ライフスタイルおよび養育態度が2世代間でどのように関連しているかを検討した。その結果、**実母の4因子と娘の4因子間では全て有意な正の相関係数が得られた。つまり健康的な食事をしていると考える実母の娘は健康的食生活を送っていると自分の食生活を評価しコンビニエントな食生活をしている実母の娘もまた、自分の食生活はコンビニエントであるととらえる傾向がみられた。同様に、実母が娘にとってきた養育態度を、子育て中の娘が我が子にもとる傾向がみられた。**

以上のことから幼児をもつ娘とその実母という2世代間の食ライフスタイルおよび養育態度は世代を超えて伝承されている可能性が示唆された。

### 結果5：娘の養育態度4クラスと食ライフスタイルとの関連(分散分析と多重比較)

養育態度がアンビバレント群は コンビニエントな食事得点が他の3群に比べて高い。厳しいかと思えば甘やかす一貫性のない養育態度をとる母親は、ファーストフードや出来合いの料理を子どもに食べさせている傾向がみられた。